

お天気解説 アキラのズバツと

雷とことわざ

令和8年7月17日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

しばらく暑い日が続きましたが、今日（17日）は、区内のあちこちで雷雨がありましたね。

さて、右図は「雷神」です。これは江戸時代の画家、俵屋宗達の描いた「風神雷神図屏風」にあります。たくさんさんの太鼓を担いで、今にも雷を落とそうとしています。対の存在となる「風神」と共に地上を睨みながら、私たちに何かを訴えかけているようにも見えます。



「雷神」 俵屋宗達画

雷には多くのことわざがあります。

昔から「雷が鳴ると梅雨が明ける」と云います。梅

雨前線が北上して夏の太平洋高気圧が覆ってくると、日中は気温が上がって上昇気流が起こり、積乱雲が発生して「熱雷」が発生しやすくなります。梅雨が明けて夏の空気に入れ替わると関東では熱雷が内陸を中心に発生しやすくなり、群馬県・栃木県・埼玉県では特に多いです。

「雷三日」は、雷が3日続くことがあることから、このことわざがあります。上空に寒気が入ると大気的不安定な状態が3日ほど続くことがよくあります。

「雷の多い年は豊作」と云いますが、実際に雷が多くなると空気中の窒素が農地に降り注いで肥料になるそうです。「雷は稲を孕ませる」ことから電光を「稲妻」と書いたとも云われます。農作業をしながら気づいた昔の人々の知恵かもしれませんね。

豊作を願い、自然を大切にしたい心は現代の持続可能な開発目標にも繋がるような気がします。自然に対する畏敬の念を、現代に生きる私たちも忘れてはならないと思っています。ダイナミックな「風神雷神図屏風」は今も国宝として大切に保管されています。

2026年07月17日11時 気象庁 発表

日付	今日 17日(金)	明日 18日(土)	明後日 19日(日)	20日(月)
東京地方	曇一時雨 	曇 	曇時々晴 	曇時々晴 
降水確率(%)	-/-/50/40	30/30/30/30	40	30
信頼度	-	-	-	A
東京 気温 (℃)	最高	31	30	30 (29~33)
	最低	-	25	24 (23~26)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

連休は真夏日になる予報です。暑さに気を付けて過ごしてください。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。